

# 令和3年度福井県計画に関する 事後評価

令和7年1月  
福井県

### 3. 事業の実施状況

令和3年度福井県計画に規定した事業について、令和5年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	I-1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO. 9】 広域災害・救急医療情報システム構築事業	【総事業費】 26,394 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県	
事業の期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	消防と医療機関が救急の応需情報を共有し、救急患者の受け入れを迅速に行うとともに、救急患者を症状に応じて回復期医療機関に速やかに転院させるためには、システム等を活用した円滑な情報連携を進める必要がある。 アウトカム指標：救急医療機関の一般病床 平均在院日数 R3 14.7日 → R5 14.5日	
事業の内容（当初計画）	広域災害・救急医療情報システムを導入した、急性期医療機関から転院先医療機関の機能や条件等を検索する機能を運用することで、急性期から回復期に患者が円滑に転院できる体制を構築する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	【システム閲覧数】 R3 37,880回 → R5 40,000回	
アウトプット指標（達成値）	【システム閲覧数】 R3 37,880回 → R5 174,684回	
事業の有効性・効率性	観察できた 救急医療機関の一般病床 平均在院日数 R3 14.7日 → R5 13.6日	
	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 広域災害・救急医療情報システムを構築したことにより、消防と医療機関による応需情報の共有が円滑に行われるようになった。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 広域災害・救急医療情報システムを活用し、福井県内の消防・医療機関は一つのシステムでネットワークを構築している。</p>	
その他	(年度別基金活用実績) R5:26,394 千円	